

平成10年度委託ビデオ作品完成

「いいね金沢」シリーズ第4弾

*4月中に各小中学校に配布の予定です。

分類番号	題名	時間	内容
P2 450	「お年よりにやさしいまち」	9分	お年よりのいきいきとした姿や、様々な施設、町中の心遣い等を紹介する中で、人とのふれあいの中にこそ笑顔がうまれるということに気づかせる。 総合 道徳 社会 ~福祉・交流~
P2 451	「学びのまち」	11分	「学ぶ喜び」をメインとして、人々が生き生きと学ぶ姿やそういう人たちを応援する施設・設備、人々（卯辰山工芸工房、銀河の里キゴ山）を紹介する。 総合 社会 ~文化・教育~
P2 189	「歴史に残る人々」	17分	金沢の歴史上の人物を現在の金沢に面影を探すことで、金沢をよりよくしようとした先人の努力や工夫を辿り、郷土への愛着と貢献の気持ちを育てたい、と考えて制作した。 社会 道徳 ~歴史~
P4 424	「金沢の地層と岩石 ~北部編~」	12分	犀川以北の身近な「金沢の地層と岩石」を取り上げ、児童生徒の知識、関心を高める。平成4年に制作した“南部編14分”も併せて収録した。 総合 理科

あなたもつくってみませんか

~パソコン教材・ビデオ教材~

平成10年度委託教材作品が完成しました。ご協力くださった先生方ありがとうございました。平成11年度も多くの先生方の応募をお待ちしていますので、よろしくお願ひします。詳しくは、各学校にお渡ししました掲示用資料を見てください。

教材・機材の貸出にご協力を！

- ・貸出の予約は利用日の前々日までに！
(前日の急なお申し込みは、準備・点検の関係上お受けできません。)
- ・教材・機材の延長の希望は、返却日の前日までに必ず電話でご連絡下さい。
- ・機器等の受け渡し場所は校務士室(学校関係) 事務室(社会教育関係) とします。
- ・返却日の午前中に回収にまいりますので、返却日の朝には校務士室(事務室)で保管願ひます。

金沢市教育研究センター
 所長 福島 茂
 〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
 TEL (221) 7949 FAX (221) 6800
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/ed-center/>
ed-center@city.kanazawa.ishikawa.jp

発行者

金沢市教育相談センター
 所長 田野正昭
 〒920-0852 金沢市此花町2番7号
 TEL (224) 0874 FAX (263) 7830

※この冊子は再生紙を使用しています。



絵：平成10年度 委託教材ソフト「学校で役立つイラスト集」より

平成11年4月30日発行

年度始めにあたって

金沢市教育研究センター

所長 福島 茂

金沢市教育相談センター

所長 田野正昭

この4月から教育相談部門が分離し、金沢市教育相談センターとして独立致しました。かわって、従来からの視聴覚教育に、教職員の研修、研究、と小学校の英語活動が加わり、この4つの事業を柱に金沢市教育研究センターとして新たなスタートを切りました。

教育改革の大きなうねりの中にあるこの時、学校教育の成果は教育に直接携わる教職員の実践・力によるところが今まで以上に大きいといわれます。その通りだと思います。いつの時代にも求められる教職員の資質能力とこれから特に求められる資質能力があります。教職員のこれらの資質向上に向けての研修の充実をどう図っていくか、重責を感じています。

また、急激な社会の変化や教育の今日的課題に適切に対処していくためには、互いに一人一人の個性、得意分野を大事にしながら、学校という組織全体としてどう対処していくか、考えていくことも大切なことではないか。そのための教職員の研修・研究はどうあればよいか、考えていきたいと思っています。

どうぞ、声をお聴かせください。皆さんのお力添えを頂きながら、共に考え、努力していきたいと思っています。

この4月から金沢市教育相談センターとして第一歩を新たに踏み出しました。従来の教育相談業務を引き継いでいるものの名称の変更に伴ってより一層の責務を痛感しています。「教育相談」という名称にふさわしい業務が遂行できるように地道な努力を続けていきたいと考えています。

ところで、教育相談のことについて考え始めると、その難しさや奥深さを思い知らされます。よく言われていることですが、いろいろな悩みや問題を抱えながら相談に来られる人たちの話を「訊く」のではなく、また「聞く」のでもありません。「聴く」ことが求められています。この「聴く」ことが、とても難しく感じられます。面談を終え、相談担当者が満足しているとしても、こちらだけの評価にしかすぎないことがあります。相談に来られる人は、実際は話したいことを伝えられず、不満のまま帰られるかもしれません。逆に、言わなくてもいいことまで言ってしまったと感じるかもしれません。

また、具体的な悩みや不安を訴えながら、相談担当者に「生きる」とはどういうことか、「自分が自分である」とはどういうことかを真剣に考えてほしいと望んでいるかもしれません。それは相談担当者の「他者理解」よりも「自己理解」に深くかかわっているのかもしれません。

教育相談センター



相 談

不登校・いじめ・発達障害・その他教育上の問題全般の相談に応じます

対象

金沢市内に在住する幼児・小・中学生とその保護者・教職員

相談の方法

電話相談 ☎ 224-0874 FAX 263-7830
(22が4でおはなしを)

いじめ相談テレフォン

☎ 262-1110 FAX 263-7830

面接相談

(事前に電話での予約が必要)

学校コンサルテーション

(先生方からの相談)

定期通所による相談

(児童・生徒とその保護者への個別援助)

適応指導教室「そだち」

不登校児童生徒の居場所を提供し学校復帰や自立のための援助を行います

対象 金沢市内在住の小・中学生

受け入れの手続き

面接申し込み ☎ 224-0874 → 受理面接 →
保護者の申請 → 学校長の同意を得て受け入れ決定

開設日 毎週月曜日から金曜日

(今年度から午後3時まで時間延長しました)

活動・援助の内容

- ♣ 児童・生徒の特性に応じた個別・小集団での活動
- ♣ 保護者や学校への援助

研 修

子どもたちの理解につながる研修会を開催します

- 児童生徒理解研修会
- 中学校生徒指導担当者研修会
- カウンセリング講座Ⅰ・Ⅱ
- 障害児学級担当者研修会
- 障害児理解研修会Ⅰ・Ⅱ

※研修会の日時・内容については研修会一覧でご確認ください

家庭訪問相談

不登校児童生徒に対して訪問相談による援助を行います

対象

金沢市内在住の小・中学生及びその保護者

相談場所

各家庭及び学校・近隣の施設

※時間外相談について

- ・電話相談(いじめ相談も含む)は月・木曜日は夜8時まで受け付けています
- ・障害児教育についての相談は土曜日にも受け付けます(前もって予約が必要です)

教育相談センターの組織

所 長	(総括)	田野正昭
所長補佐	(管理、渉外)	津路文彦
庶 務	(予算、執行)	上嶋祥明
教育相談	(相談、研修)	西 雅子、國坂昌子、上農 肇、竹内裕之、古市俊郎、清水育子
	(適応指導教室)	竹内裕之、嶋外美雄、永井映子
	(家庭訪問相談)	上農 肇、澤井 弘、佐野隆子

4月より新スタート 金沢市教育研究センター

研究事業

★委託研究

委託研究はセンターの事業になります。

★調査研究

これからの教育の在り方を探る研究に取り組みます。

研修事業

★主催研修

センター主催の研修会が多様になります。

★要請研修・出張研修

さらに柔軟に研修要請にお応えします。

情報教育

★教材作成支援

コンピュータ教材、ビデオ教材作成を応援します。

★研修支援

情報教育に関する研修を支援します。

英語活動

★EAC 計画訪問

EAC がセンター職員になりました。問い合わせはセンターへ。

★EAA 登録派遣

EAA の登録派遣はセンターへ。

平成11年度より、教育研究センターでは上記の四事業を柱として取り組んでいきます。教材や機材の貸出業務に加え、今まで以上に研究・研修に力を入れ、情報教育や英語活動では学校を支援していきたいと考えています。今後ともセンター事業へのご理解とご指導をよろしくお願いいたします。

教育研究センター組織

所 長	(総括)	福島 茂
所長補佐	(管理、渉外)	津路文彦
庶 務	(予算、執行)	上嶋祥明
	(受付、貸出)	乙 真永
	(搬 送)	嶋 貞雄
教育研究	(専門・要請・出張研修)	荒井秀典
	(情報教育、統計処理)	日光豊錦
	(課題研究、調査研究、英語活動)	松永法子
視 聴 覚	(EAC)	キム スウェイビー、アラン ディビット、クリストファ スパックマン、ポール ディ
	(ライブラリ、機器整備)	金岡弘宣